

平成 26 年度
日本技術士会東北本部応用理学部会年次大会

日時：平成 26 年 5 月 9 日（金） 15 時～17 時
場所：日立システムズホール仙台
（仙台市青年文化センター） 研修室 1
仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5

特別講演

微古生物学の研究からわかった
層状チャートの斜面崩壊のクセ

講師：鈴木紀毅氏

（東北大学 大学院理学研究科）

特別講演の概要

北上山地の北部はプレートテクトニクスで陸化した地層から出来ています。その地層のなかには2～3億年前に水深4000-5000 mに溜まった海洋プランクトンの化石からなる層状チャートという岩石があります。層状チャートは崩壊しやすく、しばし斜面崩壊を引き起こしたりします。その斜面崩壊をする弱線の位置は、地球環境の歴史で事件が起きた部分に集中していることが近年分かってきた。本講演では、その関係をしるべく、地球科学的研究で分かってきた層状チャートの歴史を紐解きたい。

メモ

講師プロフィール

鈴木紀毅氏（東北大学大学院理学研究科地学専攻・助教）

昭和44年東京生まれ、平成元年に東北大学入学、球状放射虫化石の研究で博士（理学）を取得。宇都宮大学で1年間の学術振興会研究員をしたのち、平成11年から東北大学の教員として現在に至る。

平成24年に日本古生物学会学術賞授与。分担執筆として、科博叢書「微化石」（東海大出版）や「新版 微化石研究マニュアル」（朝倉書店）などがある。